



「早期修了プログラム」

— 在学1年で経済学博士をめざす! —

早期修了プログラムとは

このプログラムは一定の研究業績を有する学生を対象に、標準修業年限3年である博士後期課程を最短1年で修了し、課程博士の学位を取得できるようにするプログラムです。名古屋・東海地域だけでなく、筑波大学などを除き、全国でもまだほとんど導入されていない履修プログラムです。

「早期修了プログラム」 実施チャート

本プログラムの履修を希望される方は、本学が実施する博士後期課程入試において、「早期修了プログラム」の履修の可否に関する審査をあわせて受けることになります。審査およびその履修で予定されるスケジュールは、以下のとおりです。

日程	行事	学 生	(単位履修)
入学前	1月~2月 出願受付 入試	指導教員選定・連絡 入学試験(口述・英語)+「早期修了プログラム」履修者の決定に関する審査	
	3月 入試合格発表 入学手続き	履修が認められない場合→通常課程入学の意思確認	
1年次	4月 入学	指導教員決定	科目履修(2単位) (関連分野の知識)
	7月 公開セミナー(中間審査)	論文の枠組の提示	演習(前期2単位) 演習(後期2単位)
	12月 予備審査(特別演習)	論文原稿提出・要旨報告 コメントに従い改訂	特別演習(2単位)
	1月 論文提出	最終原稿提出	
	2月~3月 最終試験 修了(学位授与)	口述審査・語学審査	

● 問い合わせ先

【プログラムや制度に関するお問い合わせ】

山の畑事務室 事務第一係(「経済学研究科の早期修了プログラムについて」とお問い合わせください)

☎052-872-5062(対応時間 月~金曜日:9:00~17:00(土・日・祝日、年始年末は除く))

Email sokishuryo@econ.nagoya-cu.ac.jp

(件名に「経済学研究科の早期修了プログラムについて」と明記してください)

【研究分野に関するお問い合わせ】

本研究科ホームページ内の「教員情報」、および学生募集要項(博士後期課程)にあわせて収録される「補足説明」と「履修案内」を読み、各教員に連絡を取り、研究テーマ等について相談してください。

履修のねらい

早期修了プログラムの狙いは、博士後期課程を1年で修了可能とすることで、一定の学術的業績を有する学生の学位取得を促すことにあります。しかし、他方で、学術的成果を①発表(掲載)論文数および②博士の学位を有するにふさわしい能力の達成度評価の両方から、博士後期課程の入学試験と同時に「早期修了プログラム」履修可能であるかどうかを審査し、一定の基準(後述)を超えている場合にのみ履修を認めることで、学位の「質」を確保します。

履修するためには

早期修了プログラムは一定の研究業績を有する学生を対象としています。早期修了プログラム履修を希望する場合には、入学試験出願時に研究科指定の書類を提出して応募し、プログラム適用の審査を受けることになります。提出書類として入学試験に必要な書類(入学願書、履歴書、成績証明書等)の他に、博士論文計画書、最終学歴における専門分野および職歴における業務内容と志望分野との関係に関する調書、業績リスト、学力達成度に関する自己評価書が必要です。

※この審査において早期修了プログラムの履修が認められなかった場合には、通常の入学として取り扱われますので、課程修了のためには標準的には3年の修学期間が必要となります。ただし、通常の入学となった場合でも、在学中に優秀な研究業績を挙げたと認められた場合には、従来の早期修了制度に従って2年での修了も可能です。

応募の要件

- (1) 論文：査読付学術論文(全国レベルの査読付学会誌ないし査読付国際学術雑誌に掲載済みまたは掲載を認められた論文) 1編以上
- (2) 学力達成度：出願時に提出された書類について、課程博士の学位にふさわしい研究水準及び能力に達しているかどうかを以下の6項目について評価します。入学時に①、③、④、⑤、⑥について博士論文着手可能なレベルであり、②については修士号相当レベルであることが応募の要件となります。

【達成度評価項目】

- ①専門分野基礎知識、②関連分野基礎知識、③現実問題の知識、④問題解決能力
- ⑤プレゼンテーション・コミュニケーション能力、⑥学術的成果

本プログラムの応募には、研究科指定の書類が必要となります。
詳しくは、学生募集要項内にある「早期修了プログラム履習案内」をご覧ください。

履修から学位取得まで

修了に必要な単位等は以下のとおりです。

項目	実施月	備考
特殊演習Ⅳ 4単位		通年・指導教員による論文指導
講義 2単位		1科目・半期2単位
中間審査(公開セミナー)	7月	博士論文着手可能であるかどうかを審査
予備審査(特別演習2単位(主・副指導教員による演習)の発表)	12月	学位請求論文 予備審査および学力達成度評価全6項目について博士論文執筆可能レベルであるか審査
博士論文提出	1月	
最終試験	2月～3月	口述審査・語学審査

● 本研究科および本プログラムをより詳しく知るには？

本研究科ホームページ URL:<http://www.econ.nagoya-cu.ac.jp/>
「名古屋市立大学 経済学部・大学院経済学研究科」(広報用パンフレット)
「名古屋市立大学大学院経済学研究科 博士後期課程 学生募集要項」



名古屋市立大学大学院
経済学研究科

<http://www.econ.nagoya-cu.ac.jp/>
平成24年4月